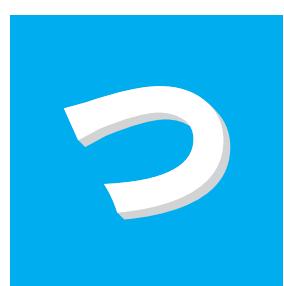




広報



ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面福生市表彰式が行なわれました 3面市民契約保養施設のご案内 4面都営住宅入居者募集 5面現況届をお忘れなく
6面保育室併設講座「子どものリズムで子育て」7面としょかんこどもにんぎょう劇 8面敬老大会にお越しください

平成24年(2012年)
8月1日 No. 860
発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

2日(木)~5日(日)	福生七夕まつり
17日(金) ~26日(日)	子ども宇宙博 宇宙人は君だ!
26日(日)	総合防災訓練

▼福生市8月の主なイベント▼

日時 8月12日(日)午後1時開場、1時30分開演
場所 市民会館小ホール(つつじホール)※入場無料
定員 260人(当日先着順となりますのでご注意ください。)
問合せ 総務課総務係 ☎551-1576

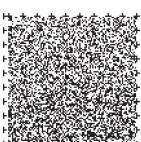
【演奏会】
【演奏】 ダイナマイト・ミキ 3・3シンガーズ
【テーマ】 「福生の戦前・戦後」

【座談会】 坂本丁次氏・石川和夫氏・菅井憲一氏・高橋桂子氏
井上寅吉氏

公民館主催平和講演会「戦争絵画とその時代」
戦争絵画が当時の著名な画家たちによって描かれていたことを存じでしようか。
この講演会では、一人の語り手から当時の世相や時代背景などをお話ししていただき、戦争絵画という新たな切り口で平和について考えます。

講演会日時 8月11日(土)午後2時~4時※戦争絵画展示会は8月8日(水)~16日(木)午前9時~午後9時(13日(月)を除く)に市民会館展示スペースで開催
場所 市民会館公民館第4・5集会室
定員 80人※参加費無料
講師 中込達夫氏(元公立小学校校長)、市丸節子氏
(日展会員)
申込み不要。講演会、展示会とも直接会場へ。
問合せ 公民館事務所 ☎552-2118

いと見ています。
け、輝ける日々
るものを見つ
け、輝けるよう
見守つていきた
る



この歌の「君」が高校球児だけではなく、恋する人でもあったと
は、野球に没頭していた高校時代には知る由もありませんでした。
しかし、そのどちらもが若さの輝きです。若者たちが夢中になれるものを見つ
け、輝けるよう見守つていきた

市主催の「平和のつどい」を開催します。入場無料となっていますので皆さん、お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。
25回目となる今年は昨年に引き続き、「市民が語る福生 語り継ぐ昭和」をテーマに、貴重なその当時のお話を講演していただきます。
今年は、井上寅吉氏に戦前から戦後にかけての福生や当時の昭和飛行機・横田基地での体験談をお話しいただく予定です。

講演の後で、企画委員や会場の皆さんにもご参加いただき、講演内容をもとにディスカッションをする座談会を予定しています。
また、ご好評につき今年も福生市在住のジャズシンガー、ダイナマイト・ミキ氏、3・3シンガーズをお招きし、懐かしい歌謡曲を会場の皆さんと一緒に歌う演奏会を企画しています。

周辺の市には、市民が波乱万丈の昭和を書き、これを出版した本は数多い。だが、市民が肉声で語った昭和の体験をまとめた記録集はない。昭和を語る声からは、命の大切さを訴え、戦争を風化させまいとの思いが強く伝わってくる。

今年は大正生まれ「福生の寅さん」が登場する。「戦時の苦々しい記憶からは逃れられない」としながらも、当時の秘話などを披露してくれる。

「市民が語る福生 語り継ぐ昭和」

開催します

「平和のつどい」を

厚みのある声

平和のつどい企画委員 坂本丁次

全力投票

福生市長 加藤育男



一九四五年の終戦から六十七年。「昭和」とはどういう時代だったのか、そこで得たものは何だったのか。忌まわしい戦争を繰り返してはならないと、平和のつどいは十年間、市民が「私の昭和」を語り、厚みのある声をホール内に響かせてきました。

周辺の市には、市民が波乱万丈の昭和を書き、これを出版した本は数多い。だが、市民が肉声で語った昭和の体験をまとめた記録集は少ないので、つらつとした一挙手一投足を見ると、必ず頭の中でメロディが流れるのが、大会歌の「栄冠は君に輝く」です。

高校時代はこの曲を常に口ずさみ、何とか甲子園出場を思つていましたが、願い叶わず。今は後輩に夢を託しています。ところである時、この曲が恋する人を恋頭において作詞されたと聞き、大変驚いたことを覚えています。

この歌の作詞者は加賀大介さん。昭和23年に5千篇を超える全国公募作品の中から選ばれました。しかし、応募時の作詞者は加賀道子さんとなっていました。実は大介さんが、婚約者の道子さんの名前で応募していたのです。その後お二人はめでたく結婚され、20年後に真相が明かされるまで、この歌は道子さんの作品として知られました。

この歌の「君」が高校球児だけでなく、恋する人でもあったとは、野球に没頭していた高校時代には知る由もありませんでした。
しかし、そのどちらもが若さの輝きです。若者たちが夢中になれるものを見つけて、輝ける日々見守つていきた